

令和3年度第5回豊明市地域公共交通会議 議事録  
(豊明市地域公共交通活性化協議会合同会議)

日 時 令和3年3月30日(火) 午前10時00分から正午まで

場 所 豊明市文化会館 ギャラリー1・2

出 席 者 21名(うち代理出席5名)

欠 席 者 1名

事 務 局 豊明市役所 行政経営部 企画政策課  
(株)国際開発コンサルタント(オブザーバー)

傍聴の可否 可

傍聴の有無 有(7名)

議 事

【報告事項】

- (1) 「チョイソコとよあけ」実証実験第7期運行計画の中間報告について
- (2) 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業に係る第三者評価委員会の結果について

【協議事項】

- (1) 公共交通アンケート調査等からの課題整理について
- (2) 地域公共交通計画策定事業仕様書(案)及び策定に向けたスケジュールについて
- (3) 令和3年度地域公共交通活性化協議会予算及び事業計画について

議 事 内 容

※内容(要旨)では、チョイソコとよあけを「チョイソコ」と記載しています。

発 言 者	内 容(要 旨)
	開会
会長挨拶	
【報告事項】(1)「チョイソコとよあけ」実証実験第7期運行計画の中間報告について	
松本会長	4月から4条運行に移っていくということだが、この中間報告を受けて特段支障はないということによいか。
事務局	支障はないと考えている。
松本会長	システム運営側のアイシンから、4条運行に向けて何かあればご発言いただきたい。
委 員 (アイシン精機)	チョイソコが豊明市に定着するにあたって、予約不成立が多少発生してしまっているというのはあるが、そこはオペレーター側でうまく乗り合わせの案内をして、不成立とならないように働きかけている。今後も持続可能な交通手段となるよう、協賛企業等とうまく連携しながら、外出促進に向けたイベントを企画し続けていきたい。

松本会長	コロナ禍でなかなか外出促進に向けた取組を実施していくことは難しいと思うが、引き続きお願いしたいと思う。
<b>【報告事項】 (2) 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業に係る第三者評価委員会の結果について</b>	
委員 (愛知運輸支局)	第三者評価委員会には、支局も出席させていただいた。特に意見として出たのは、今回の調査事業を踏まえ、豊明市で公共交通がどうあるべきだという議論をしてほしかったところ、議事録等を見るとチョイソコしか議論されていないのではないかと、ということであった。調査のスケジュールの遅れはあったとは思うが、そこは取り返していただき、次年度の交通計画策定については計画的に進めていってほしい。チョイソコを含めた公共交通全体で考えていただければと考える。
事務局	評価委員にチョイソコだけと意見いただいたのも、今年度の交通会議の議題資料等から考えると無理はない。来年度は公共交通全体での視点で進めていければと思う。
松本会長	毎回チョイソコの報告をもらっているが、他の交通手段についても定期的な報告してもらいたい。
委員 (交通対策課)	周辺市町との情報共有という点でいえば、尾三地区自治体と愛知県で会議を開いて意見交換等行った。この場を借りて紹介させていただく。
松本会長	この尾三地区については、愛知県でも盛んに情報交換がされている地区と考えている。必要な連携を深めていってもらえればと思う。
<b>【協議事項】 (1) 公共交通アンケート調査等からの課題整理について</b>	
松本会長	次の公共交通計画に向けた課題ということではなく、アンケート結果から見えた、各基本方針ごとで整理した課題ということではどうか。
事務局	次の計画の基本方針が、現網形成計画での基本方針から大きく変わるという想定はあまりなく、それなりに連動した基本方針になると考えているためこのように整理した。
松本会長	本来は、現行計画の評価結果を見たらうで判断するものであり、そこが見えてこないと判断し難い。
事務局	評価結果の検証自体はまだ不十分であり、次回に提出をする。今回はあくまでアンケートからの結果から見えた課題を基本方針ごとに整理したということでご理解いただきたい。
委員 (名古屋タクシー協会)	柔軟な運賃制度や食品デリバリーの貨物輸送等のタクシーの積極的な利活用とあるが、現実的に地元のタクシー事業者で対応が可能であるか、事業者とよく協議をしていただきたい。また、チョイソコの利用促進についてとあるが、本来は外出促進が目的である。コロナで外出が控えられ、乗合に対する危機感がある中、タクシーによる個別輸送をどういった位置づけにするかよく考えていただきたい。コロナ禍での公共交通利用による感染への不安についての解消に向けた情報発信などは、しっかりと啓発グッズ等活用し、進めてもらえればと思う。

	また、公共交通を育むとあるが、今は支えるではないか。そういう視点がないと交通と福祉の連携は生まれにくい。次の新しい計画には、交通と福祉の連携についてよく考えてほしい。
事務局	柔軟な運賃制度等の協議は、当然地元事業者と調整しながら検討していければと考えている。感染への不安解消の情報発信であるが、実は年末年始にチョイソコとひまわりバスの車両に抗菌コーティングを行った。そういった部分の情報発信をより強化していきたい。また、行政としてコロナ禍での支えるという意識は持っている。
松本会長	今は状況が変わってきて、そもそも育む活動ができなくなってきており、それどころか放っておくとなくなってしまう状況にある。そういう意味では支えるということだと思う。状況が好転していった場合には、市民の方々と育んでもらえればと思う。
委員 (愛知運輸支局)	アンケート調査をして分かったこと、制度の変化があつて分かったこと、というのが今の資料には混在してしまっている。また、豊明市ならではの課題というのが、今回の資料では読み取りづらい。豊明市としての課題が分かっていたら教えていただきたい。
事務局	今回は、アンケート調査を実施し、社会情勢の変化も把握した。また、資料にはないが、目標値に対する評価も行っている。先ほど申し上げたように次回の会議では、しっかりまとめたものを提出したい。
事務局 (オブザーバー)	豊明市の現状整理、アンケートによるニーズ調査、現行計画の評価等、項目別の整理はしている状態である。次回の会議では、豊明市としての課題について整理したものを提出できればと思う。
委員 (大府市)	課題の整理についてのお願いであるが、北部・東部だけでなく、大府市を含めた南部についてもぜひ相互連携についてご記載いただきたい。
松本会長	強化という点で考えると、ありがたい話である。豊明市は、SDGsをどう考えているか。
事務局	SDGsの各目標を意識して、市の事業は行われている。
松本会長	それであれば、SDGsの視点も含めて考えられるといい。環境・福祉との連携などは検討していく必要があると考える。
<b>【協議事項】 (2) 地域公共交通計画策定事業仕様書(案)及び策定に向けたスケジュールについて</b>	
委員 (愛知運輸支局)	方針が決まっている状態で地域懇談会を行うスケジュールになっているところから推察するに、個別事業についての検討・協議を行うようなものと想像してはいるが、次回会議の際に、地元懇談会の進め方・中身を示していただきたい。
事務局	承知した。内容等について次回お示ししたい。
松本会長	スケジュール的に素案の後に地域懇談会となっていることを考えると、地域懇談会での意見を踏まえた結果、例えばであるが、素案が全くの白紙に戻るような、がらっと変わってしまう意見をいただくことも想定されるが、承知のうえか。

事務局	あくまでも意見を伺い、参考にしていきたいということである。全部取り入れるということでは決してない。
松本会長	そうすると、素案の説明会になってしまわないか。地域の方々と計画を考えるのならば、素案を作る前に地域懇談会を行ったらどうか。その方が、地域の意見を反映できると思う。
事務局	時期的なものは、再度検討させていただく。
委員 (名古屋タクシー協会)	人口減少や、リモートワーク等による新しい生活様式などの視点がないと、次の交通計画は成り立たないと考える。また、バス、タクシーなどをどううまく活用していくのかもはっきり考えていていただきたい。
松本会長	地域の声を聴くという意味では、市民代表委員の方々はご意見はいかがか。
委員 (老人クラブ)	高齢者の立場からだと、高齢ドライバーの交通事故が増えている中、免許返納事業をさらに拡充して、返納しやすい環境を作っていただきたいと思っている。
委員 (女性の会)	交通不便地域に住んでいる自身の意見としては、返納後の交通手段がない。その保障をもっと拡充していただきたいと思っている。
委員 (障がい者団体連合会)	自分は職員 OB であり、地域懇談会で企画政策課が何を地域に伺うのかについては、大方の想像はできる。今のひまわりバスについては、色々な所を走りすぎるために、目的地までどうしても所要時間がかかってしまう。そのため、乗ろうという気にならないし、車に乗れなくなった後が不安ということを知る。
松本会長	ご意見ありがとうございます。せっかくなら地域懇談会と併せて、利用者懇談会も行ってほしいと思う。他の自治体でも地域懇談会が行われるのはよく聞かすが、利用者懇談会はあまり実施されていない印象である。ぜひ検討してほしい。
事務局	承知した。利用者懇談会について検討する。
委員 (名古屋交通局)	事業者として、非常に厳しい状況が続いている。地域の移動手段をどう確保していくかを考えたときに、確実に地域の特性として変化していると感じることがある。それは、人口の増減、特に年齢別の人口の増減を見ると通学・就労人口が増えている地域、ご高齢の方が増えている地域によって、日中の使われ方が違う。通勤・通学利用の多い朝型よりも、日中の方が、利用が多いという地域もある。自治体はそういった情報を多く持っているため、うまく情報を活用しながら計画を作っていただければと考える。
<b>【協議事項】 (3) 令和3年度地域公共交通活性化協議会予算及び事業計画について</b>	
松本会長	公共交通全体の活性化に向けた協議とあるが、実施もぜひお願いしたい。コロナが収まったら、皆さんと積極的に活性化策を進めていきたいと考えている。事務局も今のうちから活性化策の検討をお願いします。
<b>【了】</b>	